

「共通認定プログラム」の受講とBSIJ-CPDの対応について

建築士会連合会との間で締結した「CPD制度運用に関する覚書（以下、覚書）」でお互いのCPDシステムで認定したプログラムを「共通認定プログラム」とする事になりました。

両制度にプロバイダーから出席者名簿が提出され、単位が認定されます。

✓ 共通認定プログラムとして認められるプログラム

下記形態のプログラムとプログラム申請先制度が＜士会＞になっているプログラムが対象です。

プログラムの形態分類	形態コード
定期講習	K105
法定講習	K100
講習会等	K140
見学会等	K150
士会特別認定研修	K170

申請先制度 CPD 士会 JIA 設備 基金

✓ 出席者名簿に下記によるIDとカナで氏名を記入してください。

BSIJ-CPDシステムID（80M0000）＋5桁のコスト管理士または建築積算士登録番号

例： ID： 80M0000000066
氏名： セキサシ タロウ

✓ 士会CPD制度とBSIJ-CPD制度はお互い独立した制度です。そのため出席者は所属している制度それぞれに出席情報を伝える必要があります。

右図のように両制度に所属している方は、会場で一つの名簿に氏名等を2段書きをしてください。

✓ BSIJ-CPD制度への参加者の取得単位の反映は随時行いますが、士会CPD制度から名簿を受信してからの作業になりますので、若干のタイムラグが発生する事をご了承ください。

CPD制度に関する覚書

社団法人日本建築士会連合会（以下「建築士会」という）と社団法人日本建築積算協会（以下「積算協会」という）は、CPD制度参加者の継続的能力開発のためより幅広い知識・技術修得の機会を提供し、人材育成をより効果的に行うことを目的として、CPD制度における認定プログラムに関し、以下の覚書を締結する。

- 建築士会、積算協会それぞれで認定されたプログラムについては、双方共通の認定プログラム（以下「共通認定プログラム」という）とする。その詳細は、以下に規定された範囲において、協議により別に定める。
 - 参加学習型
 - ◇ 講習会・講演会等
 - ◇ 見学会
 - ◇ e-ラーニング
 - 情報提供型
 - ◇ 講師（上記、認定プログラムである講習会・講演会等の講師）
- 共通認定プログラムについては、双方認定に関わる費用は発生しない。
- 共通認定プログラムについては、建築士会または積算協会が認定したプロバイダー（建築士会および積算協会）によって、出席者名簿が作成される。
- 建築士会認定プログラムについては、建築士会CPDシステムを通じて積算協会が確認できる。
- 積算協会認定プログラムについては、BSIJ-CPDシステムを通じて建築士会にその内容を通知する。
- この覚書に記載のない事項については、建築士会、積算協会それぞれの規定によるが、それによらない事項については別途協議する。
- この覚書は平成24年4月1日から発効する。

1				上段：士会ID（建築士登録番号）
2				下段：BSIJ-CPD ID
3	888555	カナガワ	イテロウ	
4	80M000003010	カナガワ	イテロウ	
5				BSIJ-CPD制度のみ所属
6				
7	80M000001850	ケンチク	ハナコ	
8				
9	二京都府55599	キョウト	ジロウ	
10	80M0000075544	キョウト	ジロウ	
11				
12				上段：士会ID（2級建築士）
				下段：BSIJ-CPD ID